

6/15

平成9年(1997年)
No.648

むこう

広報

◎ 向日市民憲章 ◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すくえた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましよう

●発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20) ●編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111



昭和42年

消防長以下職員19名、消防ポンプ車1台、指令車1台で向日町消防本部・署発足(向日町南山)



昭和44年

B級救急自動車で救急業務開始



昭和45年

消防本部・署を現在の市役所に移す(寺戸町中野) 出初式は市役所前で披露



昭和46年

京都府下町村では初めての屈折はしご付消防ポンプ自動車11メートル級を購入



昭和54年

中高層建築物の急増にともない24メートル級はしご付消防ポンプ自動車を配備



昭和51年

優良消防機関として消防庁長官表彰旗受章パレードの一幕

市民の生命と財産を守り30年



昭和59年

救助工作車を配置し、救助活動体制を充実



平成3年

10メートル級はしご付消防ポンプ自動車を配備



平成5年

高規格救急自動車を配備し、救急救命士業務を試行



平成5年

女性防火推進員60人を委嘱



平成7年

未曾有の大災害「阪神淡路大震災」に出勤



平成9年

緊急通報システム「あんしんホットライン」設置

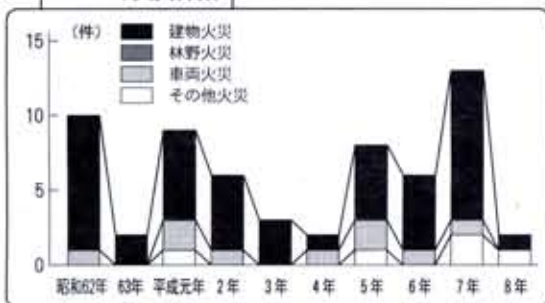


平成9年

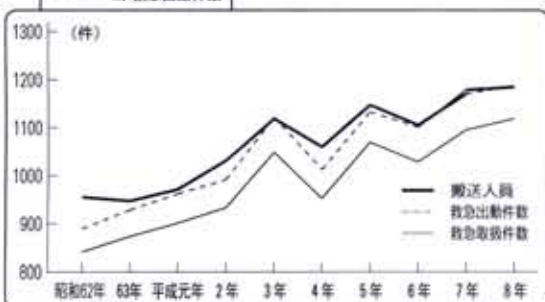
消防本部・消防署発足30周年記念式で特別点検をする岡崎市長

誰もが安心して暮らせるまちを目指して

DATE 1. 火災件数



DATE 2. 救急出動件数



昭和42年消防職員19名、消防自動車1台で産声をあげた向日町消防が、今年、30年の節目を迎えました。

5月31日に開催された30周年記念式では、

岡崎市長が最新の消防防災体制を確立した向日市消防の姿を、市長特別点検として行ったあと、消防職員による救急訓練や放水訓練など日頃の成果を披露しました。

30年の歩みの中で、尊い市民の生命と財産を守る崇高な使命を負いながら、その時代にあった消防機材の配備や諸施策を展開してきた向日市消防の1コマを紹介します。

今後とも、新しい時代に即応できる消防体制の確立を踏まえながら、誰もが安心して暮らせるまちを築くための消防防災行政を推進していきます。